

# たあとるほいくえん 【令和5年度 自己評価への取り組みと状況報告】

今年度1年を振り返り、評価を行ってください。  
1→5（悪い→良い）の5段階評価。また、あなた自身が下記項目以外で、  
「良いと思うところ」・「これから改善しようと思うところ」も、記載してください。

（期限：3月31日）

## 保育の計画性

たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	3.58
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。（月案・個人計画）	3.91
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	3.75
評価結果をもとに、保育の改善に努めている。	3.75
楽しい雰囲気の中で、安定して遊べる環境構成を考えている。	4.00
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	4.08
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に子どもが楽しんで活動に取り組めるようにはどうしたらいいか、担任同士で話し合ったり、計画を立てて行動することができた。</li> <li>・製作などをする時の導入を通して、子どもが興味を持ち楽しく取り組めるように工夫することができた。</li> <li>・”子どもが、今どんな事を楽しいと感じているか”を捉え、遊びの中に取り込もうと努めた。</li> <li>・子ども一人ひとりをよく見て応じられている。 担任の先生の計画に添って、関わろうと心掛けている。</li> <li>・子どもたちの意見を取り入れるように心掛けた。</li> <li>・園の方針に近づけるような日々の計画を立てるようにしてきた。 子どもの情緒の安定も個々によって配慮するようになった。</li> <li>・子ども一人ひとりに合わせた保育ができるように努めた。</li> <li>・楽しい給食の時間を過ごせるように努力した。</li> <li>・子どもたちが、十分に楽しめる環境を作るようにした。</li> </ul>
改善点（策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に園の保育理念・方針・目標、保育指針を念頭に置き、子どもたちに関わりたいと思う。</li> <li>・園の理念や保育を意識して活動を考えていきたい。 子どもを楽しませるだけでなく、理念や方針等も意識していきたい。</li> <li>・子どもが、「できた」喜びを味わえるよう、更なる援助の仕方を考えていきたい。</li> <li>・たあとるほいくえんの保育理念を自分自身で理解し、またそれを達成できるように保育者間で話し合っ、保育を行えるように努めていきたい。</li> <li>・配慮の必要な子どもへの対応が分からず、戸惑ってしまうことがあった。 経験してきたことを思い出し、活かせるようにノートなどにまとめて、次回に備えたい。</li> <li>・提出物をしっかり出すように心掛けたい。</li> <li>・評価、反省が活かせるよう日々のテーマを決める。 他のクラスに左右されない保育をしていきたい。</li> <li>・園全体で同じ意識を持ち、同じ方向を向いて保育できるように話し合っていきたい。</li> <li>・活動量に合わせた栄養量や評価の実践を目指したい。</li> <li>・計画を保育者間で共有していきたい。</li> </ul>

## 子どもとの触れ合い・対応

	一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4.33	
	一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	4.83	
	一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3.75	
	一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、ていねいに関わっている。	4.33	
	子どもの手本となる言葉使いや挨拶ができています。	3.75	
	子どもの名前は呼びすてにしていない。	4.08	
	すべての子どもと公平に関わっている。	4.16	
	オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けをして、スキンシップをとっている。	4.08	
	必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度」をしていないか。	4.25	
	子どもに対する適切な言葉遣いができている。	4.00	
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもに「ごはんを作ってる人」と認識してもらうため、時間がある時は、子どもの食べている所を見に行ったり、声をかけるようにしている。</li> <li>• 仕草や声の強弱、言葉などから、一人ひとりの思いを汲み取り、またその思いを他の子へ代弁したり、伝え方の手本を見せながら、子ども同士の関わりも大切にしようと心掛けた。</li> <li>• 一人ひとり子どもと向き合い関わる事ができた。体調が悪い時やいつもと様子が違うと感じた際、すぐに対応できたと思う。</li> <li>• 朝の会で、子ども一人ひとりを抱きしめスキンシップをとることができた。子どもが「一緒に～しよう」と言った時は、その思いを受け止め関わる事ができた。</li> <li>• できるだけ「～したらダメ」という、禁止用語を使わないように心掛けた</li> <li>• 細かい変化にも気付けるように（行動・怪我など）観察力をつける事ができた。</li> <li>• 子どもたちの気持ちを汲み取りながら代弁して、思いが伝わるように取り組んだ。" 待ってね" という言葉をできるだけ使わずに、待たせることがないよう心掛けた。</li> <li>• 特別扱いする子どもはなく、皆平等に一人ひとりに関わる事ができた。</li> <li>• 言葉遣いに気を付けて声掛けをした。</li> <li>• 自分でしたい気持ちを尊重し、子どもたちと関わる事ができた。</li> <li>• すべての子どもと公平に関わることを意識し、保育できた。</li> </ul>		
	改善点（策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あだ名や呼び捨てで呼んでしまうことが多かった。去年度より意識はしていたが出てしまう事が多かったので気を付けていきたい。</li> <li>• 心に余裕を持ち、穏やかな気持ちで子どもに接していきたい。</li> <li>• クラスの中の数人の特定の子との関わりが多くなってしまい、差ができてしまっていたかもしれない。" どの子どもも公平に" を意識し関わっていきたい。</li> <li>• 自分から話しかけに来る子どもに関わりがちなよすがちになった。物静かな子ども適度に関わりをもてるよう心がけたい。「それダメ」や「それよくない」といった言葉を使いがちであった。否定ではなく、別の言葉に置き換える努力していきたい。</li> <li>• 名前を呼び捨てにしないよう意識したが、あだ名で呼んでしまうことがあったので改めてたい。</li> <li>• 子どもに注意する時、大きな声で名前を呼び捨てにしていることもあり、自分で気づいたら直すようにしたい。注意する際に、禁止や命令する言葉はなくし、日々の反省点にしたい。</li> <li>• 言葉遣いは常に意識し、保育していきたい。</li> <li>• 作業中など、子どもへの対応が十分できない時があった。</li> <li>• たまに言葉遣いがきつくなってしまうときがあるので気を付けていきたい。</li> </ul>	

## 保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	4.00	
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	4.00	
送迎時に子どもの姿（ケガ含む）を必ず伝えている。	4.08	
ていねいな言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	4.41	
親しくなったからといって、ため口や友だち同士のような話し方、上から目線で会話をしていないか。	4.41	
すべての保護者と公平に関わっている。	4.50	
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	4.08	
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時に会った時は、明るく挨拶をした。</li> <li>・保護者に、子どもの1日の出来事を分かりやすく伝えるように心掛けた。保護者の悩み等にもアドバイスし、適切な対応ができたと思う。</li> <li>・保護者と話をする時は、常に笑顔を中心に、対応することができた。</li> <li>・どの保護者にも公平に、笑顔での対応を心掛け、その子の良い所や伸びたところを伝えられるように努めた。</li> <li>・保護者の方と会話する機会も多く、子どもの成長をいっしょに喜べた。</li> <li>・1日の子どもたちの様子をきちんと伝えるよう心掛けた。</li> <li>・日常のあいさつを笑顔で行った。</li> <li>・すべての保護者に公平に関わり、集団生活の心構えや子育てする上でのアドバイスをし、子どもに関心や興味を持てるよう対応した。</li> <li>・挨拶は必ず、保護者の目を見ながら日々の出来事を想像しやすく、分かりやすく伝えるように心掛け、お帳面などでは伝えきれないことなども必ず伝えるようにした。会って会話することで保護者とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築けるよう心掛けた。</li> <li>・保護者から話しやすいとお言葉を頂けた。打ち明けやすい相手になれるよう、コミュニケーションを引き続きとっていききたい。</li> </ul>	
	改善点（策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子どもの保護者かをきちんと把握し、機会のある時（参観や行事）には、普段の様子を伝えられるようにしていきたい。</li> <li>・保護者の子育てのたいへんさをもっと共感して関わるようにしていきたい。</li> <li>・保護者からの質問に曖昧な返事はせず、必ず確認をしてから返答をするよう心掛けたい。</li> <li>・保護者の子育ての悩みを感じ取ることができなかつたので、会話の中で受け止め”相談してみよう”と思ってもらえる存在となっていけるよう努めたい。</li> <li>・言葉遣いを意識しながら、子育てのたいへんさを共有して理解を深めていきたい。</li> <li>・悩みがありそうな時は、保育者間で共有し、相談して解消していきたい。</li> <li>・すべての保護者を知ることができなかつた。</li> <li>・子どものマイナス面ばかり伝えず、プラス面も評価して、保護者が安心できる対応をしていきたい。</li> <li>・～はどうしたら…。等の保護者からの質問に自信を持って答える事ができなかつた。経験をこれからもっと積んで、保護者にも子どもにも寄り添えるよう努めたい。</li> </ul>

## 自然や社会との関わり（散歩・戸外あそび）

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	4.33	
生き物や植物を大切にしている。	4.25	
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	4.33	
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の変化に気付けるような声掛けをしました。</li> <li>・散歩に行った際、自然物の名前を知らせたり、地域の人に挨拶するようにした。</li> <li>・子どもといっしょにネコや犬、花を探したり、歌を歌ったりしながら、楽しく散歩できるように関わることができた。</li> <li>・散歩中に、近隣の住民や施設の方に積極的に挨拶したりすることで、交流を持つことができた。</li> <li>・生き物や植物、野菜を身近に感じられるよう、環境を作ることができた。</li> <li>・自然の物にたくさん触れられるように心がけた。</li> <li>・登園した子どもの体調を観ながら戸外に出て、散歩へ行って外気に触れたり、動植物の観察などができた。</li> <li>・散歩のときなど通りすがりの人に元気に挨拶を行った。子どもたちと育ててきた季節の野菜を給食で食べる際は、いっしょに観察や収穫したことを伝えて味わった。</li> <li>・笑顔を忘れないよう心掛けられてきた。物を大切にするように、普段から声掛けをしてきた。</li> </ul>	
	改善点（策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な場所では、実際に草花に触れる事ができるよう配慮していきたい。</li> <li>・野菜や花を植える機会が少なかったため、来年度はもう少し自然物に触れる機会を増やしていきたい。</li> <li>・子どものつぶやきや率直な言葉を受け止めながら、子どもの心の動きに寄り添っていけるように関わっていきたい。</li> <li>・生き物や植物に興味を持てるような働きかけができなかった。園で育てている野菜や花などに触れる機会を多く持てるようにしていきたい。</li> <li>・もっといろんな野菜を育て収穫し、楽しめるようにしていきたい。</li> <li>・午前中に外に出られない時などは、午後から短時間でも外気に触れるようにしていきたい。（雨でないときは）</li> <li>・子どもで、手と気持ちがいっぱいになると、挨拶が抜けてしまうことがあった。積極的に挨拶ができるように心掛けたい。</li> </ul>

## 保育士としての能力（良識・適正）及び態度（姿勢）

	園内・園外研修に積極的に参加している。	3.25
	自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	3.67
	自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	3.92
	自身の保育を振り返り、評価し反省を行い、次の保育に生かしている。	3.83
	まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか、自ら声をかけている。	3.92
	自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。	3.67
	子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情（相談）等、必要なことは、施設長（管理者）や主任に「報告・連絡・相談」している。	3.83
	園の消耗品や教材は節約して使っている。	4.42
	職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしたりしていないか。	4.58
	他の保育士の意見を尊重できている。	4.50
	提出物を期限内に提出できている。	4.17
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士がクラスに入るため、他の先生たちのアドバイスを聞いて保育を行うことができた。</li> <li>・自分にできる事は率先して行い、他の保育士に負担をかけないように努力した。</li> <li>・他のクラスの様子を見ながら、援助が必要か考え行動した。</li> <li>・水や物、無限でないものをもっと大事にするよう努めてきた。</li> <li>・物を大切に使うよう心掛けた。</li> <li>・食育について少し関わることができた。</li> <li>・保育内容や子どもの体調変化と保護者対応に関しては、出来る限り早急に施設長へ「報告、連絡、相談」することができた。</li> <li>・保育者間のコミュニケーションがよくとれた。体調管理の徹底に努めた。</li> <li>・他の保育者の動きや言動をたくさん吸収しようと、いつも周囲を観察してきた。向上心を持ち続けられている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かな疑問も放置せず、担任の先生に確認するようにしていきたい。</li> <li>・安全チェックシートを出し忘れていた。来年度は、提出物の期限を守っていきたい。</li> <li>・悩みや不安に思うことはすぐに相談し、早期発見に取り組んでいきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告、連絡、相談を細やかに行うことができなかった。自分の思い通りに動かそうとしてしまうこともあったので、他の保育者の意見を聞き、全体で相談しながら、園全体の保育の幅を広げていきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告、連絡、相談をもっと意識していきたい。</li> <li>・もう少し積極的に食育を行っていく。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容（行事など）を第三者に意見を聞いて取り入れるようにし、園外の研修も参加していくようにしたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今以上に”ほうれんそう”を意識する。メリハリをつけて行動する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を崩すことがよくあった。感染症含め対策をしっかりとる。</li> </ul>	
	改善点（策）	

## 安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	4.67	
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	4.00	
常に危険を予知して、保育に取り組んでいる。	4.00	
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができています。	4.17	
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	4.08	
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	3.92	
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食や配慮の必要な食事の対応がしっかりとできていると思う。(切り方やその子の食べやすさ等)</li> <li>・散歩に行った際は、保育士同士で声を掛け合い、安全に目的地まで行くことができた。また、散歩の際にしてしまった怪我等も、保育士同士で知らせ情報の共有ができた。</li> <li>・避難訓練を重ねて行うことにより、地震の時などに素早く対応できるようになってきた。</li> <li>・クラスの保育者間で、子どもの健康状態や保護者から聞いた家庭での様子を伝え合い、把握し保育に活かすことができた。</li> <li>・子どもの安全を一番に保育できるように努めてきた。</li> <li>・子どもたちと安全確認をしながら戸外へ出るようにした。</li> <li>・衛生管理を心がけた。</li> <li>・食事の提供や食材の大きさを調理師さんと相談し、誤飲のないようにしてきた。保育室の換気や温度は子どもの様子を見て配慮してきた。</li> <li>・2重、3重チェックを必ず行っている。</li> <li>・子どものその日の体調の変化などすぐ気付けるように、観察がよくできている。「気づき」は、誰よりも多いと自信が持っている。</li> </ul>	
	改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの体調やけがなど、積極的に他の先生に聞いて把握するようにしていきたい。</li> <li>・子ども同士のトラブルの際、すぐに止めに入ることができないことが数回あった。トラブルが起こる前に、保育者が仲裁に入り、仲良く遊ぶことができるよう努めていきたい。</li> <li>・散歩に行った際は、保育士同士で声を掛け合い、安全に目的地まで行くことができた。また、散歩の際にしてしまった怪我等も、保育士同士で知らせ情報共有できた。</li> <li>・戸外にいる時の緊急時の対応を再確認していく。</li> <li>・3人担任がいたことで”誰かがやって(見て)くれている”という認識を持ってしまっていた部分もあった。担任の人数に関わらず、常に危機管理意識を持ち、注意深く見守っていくように努めたい。</li> <li>・引き続き、換気をしっかり行い、感染症対策を行っていきたい。</li> <li>・定期的にワックスを塗り、安全に遊べるようにしていきたい。</li> <li>・清掃時間を増やせるよう努力する。</li> <li>・子どもにとって過ごしやすい保育室にする。特に散歩中には危機管理意識を持ち、常に子どもの安全対策を考えるようにしていかなければならない。</li> <li>・子どもたちの変化をお伝え(ケガ等)するだけでなく記録に残していくようにする。</li> <li>・危機管理関連が、目の前の子どもたちで手が一杯になり、疎かになっていることがあった。広い視野と心に余裕をもって、行動できるようにしていきたい。</li> </ul>









5	5	4	3	3	5	2	4	5	4	3	4	47
5	3	4	3	3	5	3	4	5	4	3	4	46
4	5	4	2	3	5	3	4	5	5	3	4	47
3	5	4	2	4	5	3	5	3	3	3	4	44
5	3	4	4	4	5	1	5	5	3	3	4	46
5	5	4	4	4	5	2	5	5	5	5	4	53
5	5	4	4	4	5	4	5	5	5	5	4	55
5	5	5	3	4	5	3	5	5	5	5	4	54
5	5	5	2	4	5	3	5	3	4	5	4	50

4.67	5	5	5	3	4	5	4	5	5	5	5	5	56
4.00	3	5	3	3	4	5	4	4	5	4	3	5	48
4.00	3	5	4	4	4	5	3	4	4	4	3	5	48
4.17	3	5	4	3	4	5	3	5	4	4	5	5	50
4.08	4	5	4	4	4	4	3	4	5	4	3	5	49
3.92	5	3	3	4	4	4	4	5	5	2	3	5	47